

厚生労働科学研究費補助金 (難治性疾患政策研究事業)
神経変性疾患領域の基盤的調査研究 分担研究報告書

本態性振戦 (重症) に関する研究

研究分担者: 古和 久典
(独) 国立病院機構松江医療センター副院長

研究要旨

本態性振戦の中で稀少頻度と推定される「本態性振戦 (重症)」の診療の質を高めるため、GRADE システムを取り入れた Minds2017 に準拠して、本態性振戦に対する診療 GL を作成し、完成予定である。

A. 研究目的

本態性振戦 (重症) は、本態性振戦患者の中で震えのために就労や日常生活にきわめて大きな支障を来している患者をさしているが、本態性振戦 (重症) のみならず本態性振戦そのものの疫学や臨床像は十分明らかにされていない。本研究では、本態性振戦の疫学や臨床像を明らかにし、診療 GL や診療手順を整備することによって診療の均霑化を図ることを目的としている。

B. 研究方法

GRADE システムを取り入れた Minds 2017 に準拠して、診療 GL の作成を進めた。

以下、作成グループメンバーを記する。

(敬称略、五十音順)

有村公良 (医療法人三州会大勝病院)
安藤利奈 (愛媛大学臨床薬理学)
岩田育子 (北海道大学神経内科)
押野 悟 (大阪大学脳神経外科学)
貴島晴彦 (大阪大学脳神経外科学)
小島原典子 (静岡社会健康医学大学院大

学)

小仲 邦 (大阪大学神経内科, 大阪行岡医療大学)

古和久典 (国立病院機構松江医療センター)

白井慎一 (北海道大学神経内科)

田代 淳 (医療法人北祐会札幌パーキンソン MS 神経内科クリニック)

永井将弘 (愛媛大学臨床薬理神経内科)

中島健二 (国立病院機構松江医療センター)

中村雄作 (りんくう総合医療センター)

西川典子 (順天堂大学脳神経内科)

服部憲明 (富山大学リハビリテーション科)

馬場孝輔 (富山大学脳神経内科)

松島理明 (北海道大学神経内科)

目崎高広 (榊原白鳳病院)

望月秀樹 (大阪大学神経内科)

矢部一郎 (北海道大学神経内科)

(倫理面への配慮)

該当なし

なし

C. 研究結果

既に選定した本態性振戦の診療 GL 作成メンバーに CQ を分担し、作成協力者とともに推奨文・回答文の原案作成を行った。

メールで種々の情報を共有するとともに、2022年3月18, 20, 21日の3日間に作成関係者による Web 検討会議を実施し、本態性振戦の診療 GL 改訂案を作成した。その後、GRADE システムに該当する CQ について、その推奨度について投票形式による意見交換を進めた。投票結果を踏まえて推奨文や解説を作成、修正し完成予定である。

D. 考察

今後、診療 GL が完成時には公表するとともに、実臨床における本態性振戦の評価法や診断基準の有用性とそれらの問題点を検討していく。

E. 結論

本態性振戦に対する診療 GL を作成し、完成予定である。今後、診療 GL を公表するとともに、実臨床における本態性振戦の評価法や診断基準の有用性とそれらの問題点を検討していく。

F. 健康危険情報

(分担研究報告書には記入せずに、総括研究報告書にまとめて記入)

G. 研究発表 (2022/4/1～2023/3/31 発表)

1. 論文発表
なし

2. 学会発表

H. 知的財産権の出願・登録状況 (予定を含む。)

1. 特許取得

なし

2. 実用新案登録

なし

3. その他

なし